

名前：^{べっしょやまこふん}別処山古墳

所在地：^{しもつけしきぬいた}下野市絹板（^{みなみかわちない}南河内地内）

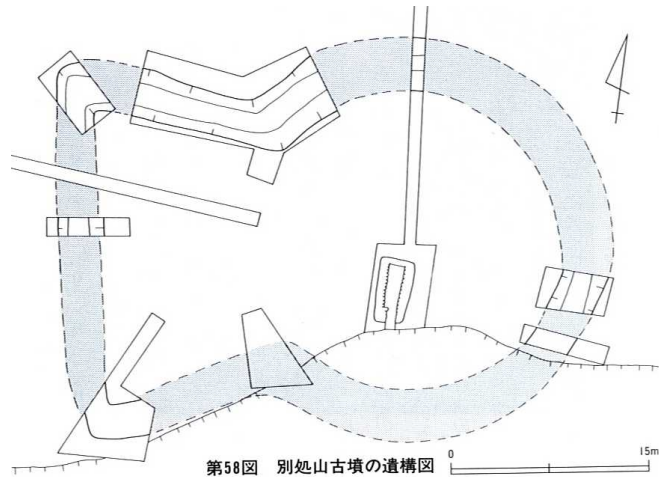
時代：^{こふんこうき}古墳後期（^{せいきこうはん}6世紀後半）

形：^{ぜんぽうこうえんぶん}前方後円墳

大きさ：^{ぜんちよう}全長約 40m ^{ふんちよう}墳長約 35m

出土品：^{せきしつない}石室内・・・^{ぶき}武器：^{ぎんそうたち}銀装大刀・^{てつぞく}鉄鍬
^{こうく}工具：^{とうす}刀子
^{そうしんく}装身具：^{じかん}耳環・^{どだま}土玉

^{かがみ}鏡：^{さんれいきよう}三鈴鏡
^{しゅうへん}周辺・・・^{はにわ}埴輪：^{えんとうはにわ}円筒埴輪・^{けいしやうはにわ}形象埴輪
^{どき}土器：^{すえき}須恵器（甕）・^{はじき}土師器（坏）



第58図 別処山古墳の遺構図



銀装大刀・耳環2・3の出土状況（南から）

石室内遺物出土状態

その他：^{かわらいし}河原石が^つ積み上げられた^あ横穴式石室があり、^{よこあなしきせきしつ}横穴式石室があり、^{ほうむ}葬られた^{じんぶつ}人物の^{ほね}骨が2ヶ所にまとまって出土している。1つは、^{さいしよ}最初に^{ほうむ}葬られた^{じんぶつ}人物のもので、もう1つは次の世代の^{じんぶつ}人物が^{ほうむ}葬られたと^{かんが}考えられる。（^{ついそう}追葬）

^{ちいき}地域の^{しゅちやう}首長のお墓と^{はか}考えられているが、^{ぎんそうたち}銀装大刀や^{さんれいきよう}三鈴鏡は、古墳の規模に比べて立派過ぎるので謎が多い。



石室全景



形象埴輪（馬）

この馬のハニワは、別処山古墳の隣の古墳にあったものと考えられています。

現在、南河内図書館に展示してあります。

^{れきしかん}歴史館の中なかに別処山古墳から出土した鏡や

^{じかん}耳環てんじが展示されてるよ～探してみてください☆